

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年9月23日	使用開始日	
登録診療科	耳鼻咽喉科	申請医師	宮口真一
レジメン名	Cmab単剤(頭頸部扁平上皮がん)(維持療法)		
疾患名	頭頸部扁平上皮がん	適応の備考	FP+Cmab(頭頸部扁平上皮がん)終了後の維持療法(アービタックス単剤)には、これを用いる。
適応分類	進行再発		
1コース日数	7 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 最小度
抗がん剤投与量・投与日 アービタックス250mg/m ² day1 治療スケジュール・投与日程(投与日ば●)(day)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7																													
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	15 分	●																																			
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●																																			
			ポラミン注5mg	1 本 / body		●																																		
		デキサート注は、3.3mgでも可																																						
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																																			
	点滴静注	アービタックス	250 mg / m ²	1 時間	●																																			
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																																			
	点滴静注																																							
4																																								
5																																								
6																																								
7																																								
8																																								
9																																								
10																																								

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

アービタックス:希釈は生食のみ。総液量を250mLに調製。

アービタックス:前投薬として、アービタックス投与前に、ポラミン注、デキサート注投与が必要。

アービタックス:投与終了後は、infusion reactionを観察するため、1時間の観察時間が必要であり、単独投与の場合は初回アービタックス投与後生食100mLを1時間かけて滴下する。

アービタックス:初回投与時は、400mg/m²を2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて投与すること。

アービタックス:FP+Cmab(頭頸部扁平上皮がん)後の維持療法(アービタックス単剤)には、これを用いる。